

令和2年12月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和2年12月23日(水) 午後1時30分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

教育長	山田公一	教育長職務代理者	山崎克弥
委員	中野信男	委員	秦久美子
委員	斎藤純郎	委員	小林恵子

4 説明のため出席した職員

教育次長	宮路一規	主 幹	鈴木華奈子
学校教育課長	太田和行	子育て支援課長	白井健次
社会教育課長	石田進一	統括指導主事	大森 亨
指導主事	今井泰輔	スポーツ推進室長	廣田友幸

5 本委員会書記

学校教育課 向井康弘 他2名

6 傍聴人

1 人

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第11号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第 5 号 新規共催・後援申請について

議案

議案第 53 号 燕市立学校管理運営に関する規則の一部改正について

議案第 54 号 燕市就学援助実施要綱の一部改正について

議案第 55 号 燕市教育委員会が行う共催又は後援に関する承認基準要綱の一部改正について

議案第 56 号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について

議案第 57 号 燕市立認定こども園条例施行規則の一部改正について

議案第 58 号 燕市立図書館条例施行規則の一部改正について

議案第 59 号 燕市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について

その他

(1) 令和 2 年第 4 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 一般質問の概要

2) 吉田トレーニングセンター大規模改修計画（案）について

(2) 日本基督教団燕教会の国登録有形文化財の登録について

8 閉会

会議録

別紙のとおり

1 開 会 宣 言 午後 1 時 30 分～

2 会議録の承認

全員異議なく、令和 2 年 11 月定例教育委員会々議録は承認された。

3 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

○委員（斎藤 純郎）

産業史料館で開催した横山操生誕 100 周年記念展覧会と連携して横山操展を開催された大山治郎コレクション美術館を見学した。有名な「新雪富士」や「送電源」などの素晴らしい作品とともに、作家を目指すきっかけとなった初期の作品も展示しており、横山操さんを知ってもらうきっかけになったと思う。年間を通して「雪梁舎美術館」「新津美術館」でも横山操さんの作品展を開催しており、市外の方からも燕市の名誉市民の横山操さんを知ってもらうきっかけになったのではないか。連携をとってもらった職員には感謝したい。燕市が所蔵している横山操さんの初期作品はまだまだあるので、将来的には全作品を展示する機会があれば良いと思う。

○社会教育課長（石田 進一）

今回の横山操展は普段展示することのない初期作品の展示が目玉だった。まだ他にも所蔵しているので、次の没後 50 年などの節目で何かできないか考えていきたい。

(2) 教育長報告

〈山田教育長が以下のとおり報告〉

①はじめに

○ 12 月市議会定例会が 21 日に閉会し、いよいよ令和 3 年度の当初予算の編成作業が佳境に入る。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年以上に厳しい財政状況下での当初予算交渉となるが、教育に必要な予算が獲得できるよう、尽力したい。

②令和 2 年第 4 回燕市議会定例会の報告

【議案】

○ 教育委員会に関係する議案は次の 3 件で、いずれも 12 月 21 日の本会議（最

終日)において可決された。

指定管理者の指定について(燕市立図書館ほか2施設)

指定管理者の指定について(燕市西燕公民館)

令和2年度燕市一般会計補正予算(第13号)

【一般質問】

- 教育委員会に対する主な一般質問は、次のとおり。
 - ・運動部活動等に係る経済的負担の実態について
 - ・ヤングケアラーの実態把握と支援について
 - ・松長小学校の可能性について
 - ・コロナ禍におけるいじめや不登校の実態とその対応について
 - ・吉田トレーニングセンター(ビジョンよしだ)の大規模改修計画について
 - ・教員の働き方改革について
 - ・中学校における部活動指導員配置事業について
 - ・子どもたちの図書館利用について
 - ・GIGAスクール構想について
 - ・つばくろいきいきスポーツクラブについて

【議員協議会】

- 議員協議会において協議した案件は、次のとおり。
 - [12月1日開催]
 - ・第2次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画改定版(素案)について
 - [12月21日開催]
 - ・吉田トレーニングセンター大規模改修計画(案)について

③12月の行事より

(ア) 燕キャプテンミーティング(12月5日(土)、12月12日(土))

- 燕キャプテンミーティングを、12月5日と12日の二日間にわたり、吉田産業会館で開催した。参加者数は、5日が41人、12日が85人。
- 12月5日は、燕市と包括連携協定を締結している新潟経営大学から協力いただいで実施した。

新潟経営大学女子バスケットボール部の花摘莉乃さんと荒木美有さんから、自身の体験をもとに、キャプテンやリーダーの役割や大切なことなどを話していただいた。

新潟経営大学助教の萩原麻耶さんからは、「怪我をしない体づくり」をテーマに、成長期におけるスポーツ外傷や障害の実態などを講義いただくとともに、実際に体を動かしながら体の姿勢をチェックし、体のゆがみを解消するスクワットなどのトレーニングについて、中学生にわかりやすく教えていただいた。

- 12月12日は、第1部で中越高校の前野球部主将の廣瀬航大さんから、第2

部でNPO法人ベースボールスピリッツ理事・宝塚ボーイズ監督の奥村幸治さんから、それぞれ講演していただいた。

- 第1部では、分水中学校出身の廣瀬さんから、甲子園での敗戦や怪我など、悔しい経験から大きく成長できたこと、キャプテンとして周りをよく見ることや選手とのコミュニケーションを大切にしてきたこと、家族をはじめ多くの方々への感謝の気持ちを込め「心で勝つ」ことを大切にしてきたことなど、キャプテンとして、また、人として大切なことについて、中学生にわかりやすく講演していただいた。さらに、コロナ禍で中止となった甲子園大会から気持ちを切り替え、県大会優勝を勝ち取ったことについても、応援してくれる多くの方の支えがあって、やり遂げることができたと話されていた。同じ燕市出身の先輩の話に、真剣にメモをとっている参加者の姿が印象に残った。
 - 第2部では、講師の奥村さんからは、トップの選手ほど、体のケアを大切にしていたり、当たり前なことを当たり前に行い、人との出会いを大切に、謙虚に他人からの意見に耳を傾けたりしていることを教えていただいた。また、充実した毎日を過ごすためには、目標を手の届くところに設定することが重要であること、プラス思考といったメンタルを充実させるための取り組み、良い習慣を続けていくことが自分自身やチームの質を下げないために大切であることなどを、イチロー選手や星野監督、田中将大選手との交流や体験談を交えながら、中学生にわかりやすく話していただいた。
- (イ) 燕ジュニア検定表彰式 (12月12日 (土))
- 11月9日 (月) に実施した第9回燕ジュニア検定には、全体で2,707人、最難関のAクラスには134人と、今年も多くの子童がチャレンジしてくれた。
 - その表彰式を12月12日に吉田産業会館の第一会議室で開催した。例年は、Aクラス満点者とAクラスで90点以上99点以下の子童を対象に実施していたが、コロナ禍の本年は、密を避けるため、Aクラスの満点者のみを対象に表彰式を行うこととした。
 - 当日は、Aクラス満点者である7人の子童に、教育長特別賞とつばけん博士のピンバッジを授与させていただいた。
 - 燕ジュニア検定は、各小学校の地域コーディネーターやボランティアの皆さんのご協力によって成り立っている事業であり、改めて多くの方々からご協力いただいたことに感謝申し上げたい。
- (ウ) 分水高校「成果発表会」(12月16日 (水))
- 分水高校では、11月から1年生の「総合的な探究の時間」の授業を活用し、市内で活躍する方々からの話を通して、燕市のいいところや課題、自分の興味のある職種の魅力や実際の仕事の大変さ、楽しさを学ぶ活動を実施した。この活動は、市内高校の特色化事業の一つとして、実施されたもの。

- 今年は、新型コロナウイルス感染症のリスクを避けるため、インタビューをオンラインで行い、学校にいながら多くの方から話を聞くことができたとのこと。そこで学んだことを多くの方から聞いていただきたいと考え、オンラインでの成果発表会を開催した。
- 当日は、分水高校の1年生65人が10チームにわかれ、オンラインで発表を行った。チームは、ものづくり、クリエイター、映像制作、食A、食B、行政、福祉、サービスA、サービスB、農業の10チーム。
- 市役所からは、市長をはじめ、発表内容に関係する各部署の課長と担当職員からもオンラインで参加していただいた。

(エ)「子育てコンシェルジュ」第一期生任命式(12月22日(火))

- 今年度から、子育て支援センター等の職員を対象に「子育てコンシェルジュ育成事業」に取り組んでいる。この事業は、職員のスキルアップを通して、相談体制の充実や関係機関との連携体制の強化を図るもので、国が定める子育て支援研修を実施し、その研修の修了者を「子育てコンシェルジュ」として任命するもの。
- 当日は、市役所会議室102・103において、鈴木市長から研修を修了した職員20名に対して、「子育てコンシェルジュ」の第一期生として、研修の修了証書と子育てコンシェルジュの任命書を授与していただいた。
- 子育てコンシェルジュ第一期生が活躍し、本市の子育て支援がより充実することを期待したい。

○委員(斎藤 純郎)

山田教育長の就任後、このような形で教育長報告を事前に素案として教育委員へ配布してもらい、確認する機会をもらえた。当日もさらに正規のものとして教育長報告を配布してもらっている。中身も誠実でしっかり適切に紹介してもらっている。会議録についても事前に案をみせてもらい、よく確認することで承認をすることができる。十分に理解しているので教育委員も定例教育委員会当日すぐに異議なく承認ができる。この誠実な取り組みを今後も続けてほしい。私たち教育委員も襟を正してしっかりと対応していきたい。

また、本会議の議案の中の「指定管理者の指定について(燕市立図書館ほか2施設)、(燕市西燕公民館)」は賛成多数で可決されたが今後5年間、市教育委員会として指定管理者とどう向き合っていくのか伺いたい。

○社会教育課長(石田 進一)

燕市立図書館は平成25年度から指定管理者制度を導入しており、8年間連携して取組を進め、最初20ほどの事業を行っていたのが現在は50以上に増えている。

今回も色々な提案をいただいているので、引き続き連携をしながら図書館サービスの向上に努めたい。燕市西燕公民館についても地元の燕西地区まちづくり協議会から指定管理をしてもらっているが、地域を熟知している団体から管理を行ってもらえると地域の活性化にもつながるため、今後5年間は引き続き力を合わせていきたい。

○委員（斎藤 純郎）

図書館との関係は今までと違い、指定管理料を増額し、適切に対応してもらったことになった。今後も社会教育課と連携し、指定管理料の増額に見合った市民サービスの向上に努めてほしい。本会議では賛成討論反対討論様々あったが、真摯に耳を傾け、指定管理者との対応に反映してほしい。

○委員（小林 恵子）

燕キャプテンミーティングでは分水中学校出身の廣瀬航大さんの講演と宝塚ボーイズ監督の奥村幸治さんの講演の両方を聴いた。2人の講師でどのように進めるのかと思っていたが、奥村さんが廣瀬さんの体験を再度自分の話に盛り込み、また中学生にきちんと伝わるようにまとめていたのが非常に印象的で、2人の講師が話したことがうまくまとまって生徒にしっかり伝わっていたと思う。とても良い講演会に感じた。

(3) 寄附報告

1 件の寄附について

〈太田学校教育課長が説明〉

4 専決処分の報告について

報告第 11 号 共催・後援の教育長専決報告について

2 件の後援申請について

〈No.1、2について石田社会教育課長が説明〉

1 件の後援の取り下げについて

〈太田学校教育課長が説明〉

5 協議題

協議第 5 号 新規共催・後援申請について

2 件の共催・後援申請について

〈石田社会教育課長が説明〉

○委員（山崎 克弥）

「第 96 回新春親善将棋大会」について第 96 回とあるが、今回新規の申請をしたのはなぜか。

○社会教育課長（石田 進一）

この将棋大会はおそらく燕市で一番古い大会である。実際にはこれまで市として盾を提供したり、協力をしていたが、共催の申請をしていなかったのが今回きちんと申請をしてもらった。

○委員（山崎 克弥）

新型コロナウイルス感染症に十分に注意を払って開催してほしい。

6 議 案

議案第 53 号 燕市立学校管理運営に関する規則の一部改正について
〈太田学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 53 号は原案通り議決された。

議案第 54 号 燕市就学援助実施要綱の一部改正について
〈太田学校教育課長が説明〉

○委員（斎藤 純郎）

様式を変更することで、申請者の手間がかからない形になれば良いと思う。今後も様式に関しては見直しを図ってほしい。申請者の立場になった様式の変更を考えてほしい。

審議の結果、全員異議なく議案第 54 号は原案通り議決された。

議案第 55 号 燕市教育委員会が行う共催又は後援に関する承認基準要綱の一部改正について

〈太田学校教育課長が説明〉

○委員（小林 恵子）

これから実際に報告書の提出を求める運用を始めても、報告書を提出せずに次回の共催・後援の申請書を提出する団体もあるかもしれない。報告書の提出がない

と次回の承認はできないことをきちんと説明して、報告書の提出を定着させてほしい。せっかく様式が決まったので、きちんと報告書を提出してもらう習慣付けを行ってほしい。

○学校教育課長（太田 和行）

今後は報告書をきちんと提出してもらい、確認を行っていきたい。

審議の結果、全員異議なく議案第 55 号は原案通り議決された。

議案第 56 号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について

議案第 57 号 燕市立認定こども園条例施行規則の一部改正について

〈白井子育て支援課長が一括説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 56 号及び議案第 57 号は原案通り議決された。

議案第 58 号 燕市立図書館条例施行規則の一部改正について

〈石田社会教育課長が説明〉

○委員（小林 恵子）

議案第 58 号中第 6 条の中に誤植があるので「貸手し」を「貸出し」に修正してほしい。

審議の結果、議案第 58 号は小林恵子委員の修正を加え、議決された。

議案第 59 号 燕市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について

〈太田学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 59 号は原案通り議決された。

7 その他

(1) 令和 2 年第 4 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 一般質問の概要

〈宮路教育次長が説明〉

○委員（齋藤 純郎）

土田議員からいじめ・不登校の関係を指摘されているが、いずれにしても不安やストレスを抱えている児童生徒の心に寄り添ったきめ細かな対応を今後も続けてほしい。いじめに関しては早く認知をし、適切に対応するのが大切だと改めて感じた。今後さらに力を入れて児童・生徒が安心して登校できる環境をぜひ作ってほしい。

2) 吉田トレーニングセンター大規模改修計画（案）について
〈廣田スポーツ推進室長が説明〉

○委員（齋藤 純郎）

今までも老朽化によりできるだけ早く改修してほしいという現場の声を聞いており、利用者からも意見をもらっている。時間的制約もあり、白紙から線を描くのではないため、先ほどの案でもあったが、法規制により解消できない部分もある。様々な制約の中での改修という難しい計画になると思っていたが、説明を聞き非常に苦労していることがわかった。その中で教育委員へも今までもいくつもの案を説明してもらってきた。また途中経過も今まで聞かせてもらっていたので真摯に対応してもらっているのは良く理解している。利用者の声を聞いたり、議員から一般質問や意見もたくさんもらっているのも、さらによりよいものに近づいてきていると思う。全員に理解してもらえる案になることが一番だが、時間とお金と法の規制があるためなかなか難しいと思う。よく短時間でこれだけのものを提案してもらった。本会議の最終日の議員協議会で再度説明をして議員からも意見をもらったとのことなので、今後利用される方からも意見をいただき、設計の中でまた専門家と協議しながら、出来上がる前からそして出来上がってからも働いている方々と力を合わせて市民サービスの向上につながるような施設になってほしいと期待している。

(2) 日本基督教団燕教会の国登録有形文化財の登録について
〈石田社会教育課長が説明〉

8 閉 会 午後 2 時 55 分

燕市教育委員会会議規則（平成 18 年燕市教育委員会規則第 2 号）第 17 条第 2 項の規定により会議録に署名する。

令和 3 年 2 月 22 日

教 育 長 山 田 公 一

教 育 委 員 山 崎 克 彦

教 育 委 員 甲 野 信 男

教 育 委 員 秦 不 美 子

教 育 委 員 齋 藤 純 郎

教 育 委 員 小 林 恵 子

会 議 録 作 成 職 員 竹 田 泉 子

